

記録書 No.6

(2014 年 06 月 16 日 ~ 2014 年 06 月 25 日)

2014 年 06 月 26 日
乃村研究室 B4
藤田 将輝

0. 前回ミーティングからの指導・指摘事項

- (1) 相談するときは，誰に相談するかをよく考える．
[6/16, 全体ミーティング, 谷口先生]

1. 実績

1.1 研究関連

- (1) 研究テーマに関する項目
 - (A) 参考文献の読解 (50 % , +10 %)
- (2) 開発に関する項目
 - (A) 自動ビルドスクリプトの作成 (90 % , + %)
- (3) 第 253 回 New 打ち合わせ (06/18)

1.2 研究室関連

- (1) 平成 26 年度 M2 論文紹介 (06/20)

1.3 大学・大学院関連

- (1) 特になし

2. 詳細および反省・感想

2.1 研究関連

- (1A) 山本凌平さんの特別研究報告の参考文献の 1 つである「Debugging operating systems with time-traveling virtual machines」[1] の読解をしている．この論文は，VM を用いて OS のデバッグを支援する機構を紹介するものである．この論文は英語で書かれており，ページ数も多いため，読解がすすんでいない．英語能力の向上のためにも，読解をすすめる．
- (2A) コードに変更があったカーネルをビルドし，再起動した際にビルドしたカーネルを選択して起動し，起動に失敗すれば，変更前のカーネルにロールバックするスクリプトを作成している．現在，fallback という grub の機能を使用して，

ロールバックするスクリプトを作成中である．起動失敗後に起動するカーネルを変更できていない．fallback の機能と実装方法の説明を読解する．

2.2 研究室関連

- (1) 平成 26 年度 M2 論文紹介に参加した．M2 の先輩方の論文紹介を聞いた．自身の研究とは異なる分野の論文も多かったが，わかりやすいスライドで紹介してくださったため，理解できた．また，発表の方法や話し方も理解できた．自分が発表するときの参考にする．

3. 今後の予定

3.1 研究関連

- (1) 研究テーマに関する項目
 - (A) 参考文献の読解 (07/03)
- (2) 開発に関する項目
 - (A) 自動ビルドスクリプトの作成 (06/27)
- (3) 第 6 回 New グループ開発打ち合わせ (06/27)
- (4) 第 254 回 New 打ち合わせ (07/03)

3.2 研究室関連

- (1) 暑気払い (07/07)

4. その他

6 月 22 日にバスケットボールの大会に参加した．この大会に向けて最近の練習を頑張っていた．私は，運動量でチームに貢献することしかできないため，体力が続く限り動いた．結果，私は 14 得点をあげることができたが，チームは負けてしまった．原因はこちらのチームのディフェンスの甘さにあったと感じた．このため，これからの練習ではディフェンスを強化し，次の大会での勝利を目指す．

5. 参考文献

- [1] Samuel, T.K., George, W.D. and Peter M.C.: Debugging operating systems with time- travelling virtual machines, Proceedings of The USENIX Annual Technical Conference, pp.1-15(2005).